

「ぞうがん」クッキング!!

「ぞうがん」って何だろう？
はじめてきくことばかもしれないね。
まず、「ぞうがん」についてまなんでみよう。

「ぞうがん」を漢字でかくと？

象嵌

ぞうがん

とかきます。象は「かたどる」、嵌は「はめる」という意味です。

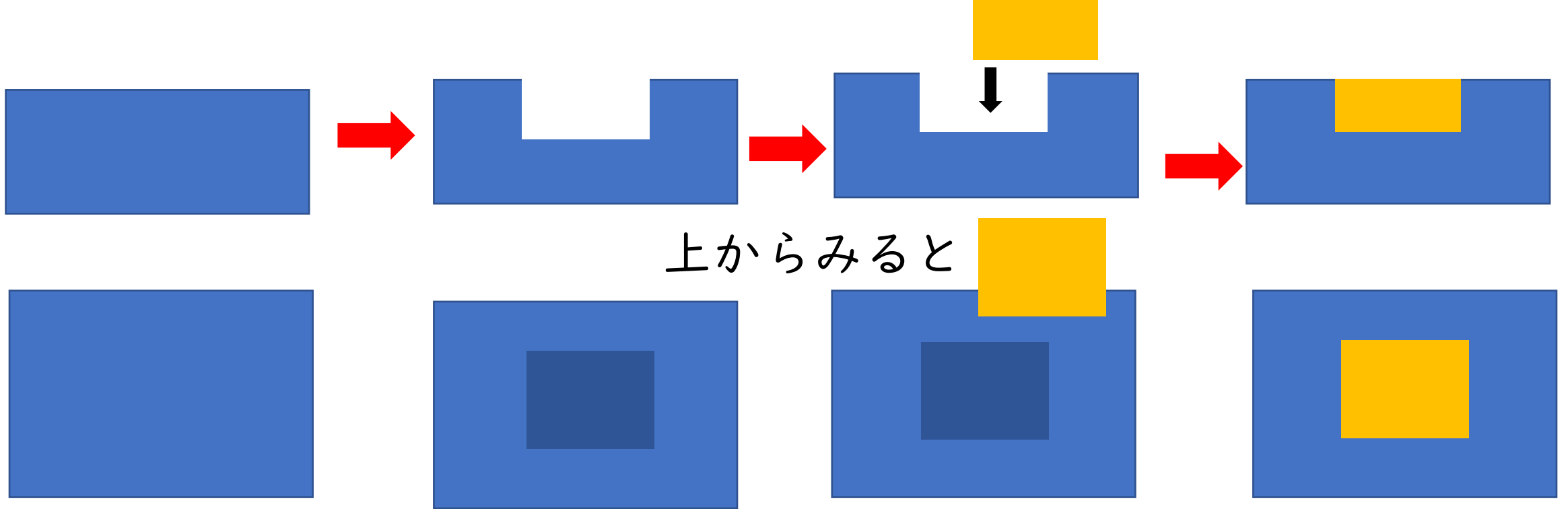
つまり、

あるものに、ちがう材質で「かたどった」かたちを「はめる」ことをさします。

ちょっとむずかしいかな？

象嵌を図であらわすと

青い四角をあなをほって、黄色い四角をはめる



上からみると

このように、あるものにちがう色またはちがう材質のものをはめることを「象嵌する」といいます。

象嵌(ぞうがん)とは

昔の人たちが、お皿やお茶碗、刀のつば、いれものなどを
きれいな絵やもようでかざりたいときにつかった**ぎじゅつ**です。

ここ、**八代**にも

肥後つば、高田焼、八代城主たちが使ったお茶の道具など、
ぞうがんの技術をつかってつくられたものがたくさん残っています。



高田焼



肥後つば(刀のつば)



貝のうすい板を象嵌した茶器

では、みんなも象嵌のぎじゅつをつかって
レッツ ツクツキング!!

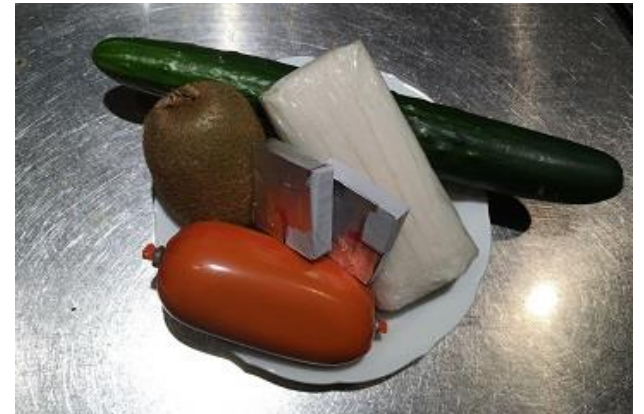


用意するもの

型ぬき (おうちにあるもの)

れいぞうこにある

キュウリ、チーズ、かまぼこ、ハムなど



※型ぬきがないときは、キャップのフタなどをつかって工夫してみよう!

※ほうちょうや型ぬきでケガをしないようじゅうぶんきをつけて、おうちの人といっしょにやってみよう!

1、はじめに、材料を切ります。同じ厚さに切るのがコツ



2、そのなかから、ふたつの食材をえらぶ

3、型ぬきで両方をくりぬく

4、くりぬいた形をそれぞれにはめる

5、完成

さあ、やってみよう!

チーズとハム



くりぬいて



はめる



ハムときゅうり



くりぬいて



はめる



かまぼことハム



くりぬいて



はめる



さあ、いっぱいつくってみよう!!

おいしそう

カワイイ

ゼリーで
作ったら
もっときれ
いかも～

いろいろ
工夫して
みよう

象嵌のぎじゅつをつかってクッキングしてみると、どんなことに気づいたかな？

高田焼の象嵌のぎじゅつ

製作工程 協力：高田焼上野窯



①粘土を轆轤(ろくろ)でひいて器形を作る。



②生乾きの時に、ヘラで文様を刻む。



③文様の凹面に白土を埋め込む。



④余分な白土を削り、素焼きを行う。



⑤釉薬をかける。



⑥1250度くらいで焼成して完成。

土にもようのかたちにもぞをほって、白い土をうめて、つくられています。

これも象嵌のぎじゅつだよ!

肥後象嵌のぎじゅつ

鉄地に、こまかい溝をほって、金や銀をうめこんで、つくられています。

これは、くまモンのピンバッチ
これも象嵌のぎじゅつで
つくられているよ!

博物館には、象嵌のぎじゅつを
つかって作られたものが
たくさん展示されているよ!
こんど、みにきてね。

